

# NILIM 2023

## 国総研レポート 2023



○ 「NILIM2023 国総研レポート 2023」とは

国総研の研究活動の理念、2022年に進めてきた研究活動や成果および今後本格化しようとする取り組みを幅広く紹介する、研究活動のいわゆる「総合カタログ」です。

より詳細な内容についてお知りになりたい場合は、研究紹介の中で示しております詳細情報等をご覧ください。

※巻末にアンケートがございます。ご協力をお願いいたします。



表紙写真

- ①CLT工法による通し壁柱に梁（垂れ壁）を接合した架構の構造実験。  
災害時の復興住宅（5階建ての共同住宅）をCLTで早期建設するための工法として提案し、実験を通じて構造特性を検証。
- ②自転車の通行位置を示す「矢羽根型路面表示」の設置例。国総研では表示の形状や設置間隔を試験走路における走行実験を通じて検討するとともに、設置箇所における通行安全性を確認する現地調査を実施。
- ③須崎港東防波堤基部に生育する海藻。海域におけるCO<sub>2</sub>吸収を促進するため、港湾構造物にブルーカーボン生態系を増やす技術開発を実施。設置から2年で被覆ブロックを覆うように海藻が繁茂し、藻場が形成され、自然と一体化。また、多様な生物の生息場としての機能も確認。

# NILIM 2023

## 国総研レポート 2023

### CONTENTS

所長メッセージ	2
巻頭クローズアップ	4
各研究部・センターからのメッセージ	22
研究紹介	48
1. 国土を強靱化し、国民のいのちと暮らしをまもる研究	48
2. 社会の生産性と成長力を高める研究	76
3. 快適で安心な暮らしを支える研究	95
災害対応の支援	124
現場技術力の向上の支援	126
データの収集・分析・管理、社会への還元	135
技術連携	140
国際研究活動	142
新しく「港湾情報化支援センター」を設置します	144

詳細な目次は 19 ページに掲載しています